

第1回モノトリ研究若手勉強会プログラム

2026 年 10 月 16 日（金） 13:00-18:00 慶應義塾大学 矢上キャンパス 厚生棟 大会議室

13:00-13:05 開会挨拶・趣旨説明

八木 瑛穂（東北医薬大・薬）

13:05-14:17 一般口頭発表（1）

座長：池田 拓慧（京大・薬）、井口 巴樹（東京薬科大・薬）

O-01 美白有効成分につながる HSP70 誘導化合物の探索
藤巻 貴宏（東京農業大学応用生物科学部農芸化学科）

O-02 新規 kynurenine 産生阻害剤 KNP-1 類の構造決定と機能解明
小澤 武将（工学院大学大学院工学研究科）

O-03 深海由来微生物からの新規化合物の探索
杉原 優大（北里大学大学院感染制御科学府）

O-04 海洋シアノバクテリア由来新規カテプシン D 阻害剤の単離と構造決定および構造
活性相関研究
山路 悠馬（中央大学大学院理工学研究科）

O-05 Isolation of a novel indoleacetic acid derivative, pseudomonindolethioate from
Pseudomonas sp. TB-97
Most. Lipy Khatun (Biotechnology Research Center and Department of
Biotechnology, Toyama Prefectural University)

O-06 LC-MS を活用したジンチョウゲ科薬用植物フジモドキに含まれるダフナン型ジテ
ルペノイドの探索
大月興春（東邦大学薬学部）

14:20-15:20 ポスター発表（示説・討論）

奇数班（ポスター示説時間：14:30-14:50）

P-01 オートファジー誘導によるメラニン蓄積抑制活性化合物の探索
大兼久 凜（東京農業大学応用生物科学部）

P-03 南極由来の微生物が生産する新規化合物の探索
栄山 美佐子（北里大学大学院感染制御科学府）

- P-05 フェロトーシス誘導作用を示す *Curcuma zedoaria* からの天然物の探索
樽井 優華（香川大学大学院農学研究科）
- P-07 キョウチクトウ科植物 *Tabernaemontana contorta* より新規インドールアルカロイドの探索
富岡 尊（千葉大学大学院医学薬学府）
- P-09 キョウチクトウ科植物に含有されるアルカロイドの探索研究
細矢 英輔（千葉大学大学院医学薬学府）
- P-11 *Diospyros kaki* のトリテルペノイド
山崎 絢世（昭和薬科大学大学院薬学研究科）
- P-13 天然資源からの抗リーシュマニア活性成分の探索
渡邊 周一（東京理科大学大学院薬学研究科）
- P-15 沖縄県産海洋シアノバクテリア由来中分子天然物の単離・構造決定および生物活性
八木 美裕（中央大学大学院理工学研究科）
- P-17 海綿 *Corticium simplex* に含まれる抗 HBV 活性物質の探索
今井 雄士（琉球大学大学院理工学研究科）
- P-19 ジャノメアメフラシ由来の二次代謝産物に関する研究
小瀬 日奈子（鹿児島大学大学院理工学研究科）
- P-21 新規環状ペプチド yonehazole 類の単離と DFT 計算を活用した構造決定
笠井 洸介（中央大学大学院理工学研究科）
- P-23 微生物培養液からの灰色かび病菌に対する農薬シード化合物の探索
佐藤 正直（北里大学理学部・北里大学大学院感染制御科学府）
- P-25 ニガシメジ子実体中の抗菌物質の同定
中村 洸介（富山県立大学工学部）
- P-27 クスノキ科植物 *Lindera aggregata* 由来の抗リーシュマニア活性成分の探索
藤田 旺賀（東京理科大学薬学部）
- P-29 土壌真菌 *Trichoderma* と病原真菌 *Aspergillus* の共培養による抗真菌活性を有する天然物の探索
森 美羽（香川大学大学院農学研究科）

- P-31 微生物培養液からの抗マラリア原虫活性物質の探索
岩瀬 桃夏（北里大学大学院感染制御科学府）
- P-33 スズメバチ由来新規キチナーゼ阻害剤の発見とその応用
窪田 千夏（工学院大学大学院工学研究科）
- P-35 ジュウニヒトエ地上部から単離されたジテルペン類の化学構造と腫瘍細胞毒性
島崎 珠美（東京薬科大学大学院薬学研究科）

偶数班（ポスター示説時間：14:50-15:10）

- P-02 真菌 *Fusarium fujikuroi* からのフェロトーシス誘導活性を有する天然物の探索
栗原 美桜（香川大学大学院農学研究科）
- P-04 海洋シアノバクテリア由来新規リポペプチドの単離と構造決定
櫻井 杏実（慶應義塾大学大学院理工学研究科）
- P-06 直接的アルキン濃縮法の改良とそれを活用した新規天然物探索
坪井 陽香（中央大学大学院理工学研究科）
- P-08 放線菌 ATM-0190 株からの新規環状ペプチドの探索
藤下 藍華（北里大学大学院感染制御科学府）
- P-10 微生物の生合成マシナリーを活用したホスホン酸基含有ペプチドの開発
山上 健太（愛媛大学大学院連合農学研究科）
- P-12 固体培養法を用いた放線菌潜在的二次代謝産物の探索
渡邊 浩太（北里大学大学院薬学研究科）
- P-14 生物活性に着目したゲノムマイニングによる天然物探索
渡辺 匠（北海道大学薬学部）
- P-16 深海由来真菌 *Ilyonectria robusta* FKJ-0557 株が生産する新規化合物の探索
飯尾 幸生（北里大学海洋生命科学部・北里大学大学院感染制御科学府）
- P-18 直接的アルキン濃縮法を用いた植物由来新規天然物の単離及び計算化学による構造決定
岩崎 二颯（中央大学基幹理工学部）
- P-20 微生物-植物間相互作用に着目した放線菌 *Nocardia* 由来新規天然物の探索
金川 愛（香川大学大学院農学研究科）

- P-22 カヤツリグサ科ビロードテンツキ地下部のフェノール性成分に関する研究
毛良 陽介（岐阜薬科大学大学院薬学研究科）
- P-24 モクレン科植物 *Magnolia figo* 由来の抗リーシュマニア活性成分の探索
醍醐 礼都（東京理科大学薬学部）
- P-26 イボテングタケからの新規化合物探索
野崎 剛暉（富山県立大学大学院工学研究科）
- P-28 病原放線菌 *Nocardia higoensis* と動物細胞の共培養による新規天然物の探索
堀内 翼（香川大学大学院農学研究科）
- P-30 放線菌 *Nocardia nova* と動物細胞の共培養による新規天然物の探索
吉田 創宇（香川大学大学院農学研究科）
- P-32 Wnt/ β -catenin 経路を制御する化合物の探索
梅田 果歩（東京農業大学応用生物科学部）
- P-34 タバコ由来の植物培養細胞に対して増殖制御作用を有する真菌代謝物の探索
坂梨 楓佳（熊本大学大学院薬学教育部）
- P-36 北里八雲牛糞由来微生物の分離と新規生物活性物質の探索
西畠 あつか（北里大学大学院感染制御科学府）

15:20-16:20 一般口頭発表（2）

座長：茂野 聡（北里大・薬）、原 康雅（香川大・農）

- O-07 $^1\text{H-NMR}$ メタボロミクスに基づく生薬オンジおよびセネガの比較解析：種特異的 5
糖オリゴ糖エステルの単離と構造決定
北添 達樹（北里大学大学院薬学研究科）
- O-08 物取り苦労話（困ったこととその解決法）
渡邊 善洋（北里大学大村智記念研究所）
- O-09 天然物推定法 NP-FLOCK と分子ネットワーク解析を利用した *Stilbocrea* 属真菌産
生物質の探索
貞廣 優作（熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センタ
ー）
- O-10 細菌由来細胞外膜小胞を活用した休眠遺伝子活性化法の汎用性の検証

馬目 照久（北海道大学大学院薬学研究院）

O-11 放線菌由来有機ヒ素天然物の開拓

星野 翔太郎（学習院大学理学部生命科学科）

16:20-16:30 休憩・ポスター回収

16:30-17:15 招待講演（1）

座長： 吉村 彩（北大・薬）

IL-1 若手ウェット系研究者のためのラボオートメーションの実際と活用法

芝井 厚（理研 BDR）

17:15-18:00 招待講演（2）

座長： 城森 啓宏（琉球大・理）

IL-2 海洋天然物が明かす生物たちの化学戦略

高田 健太郎（北里大海洋）